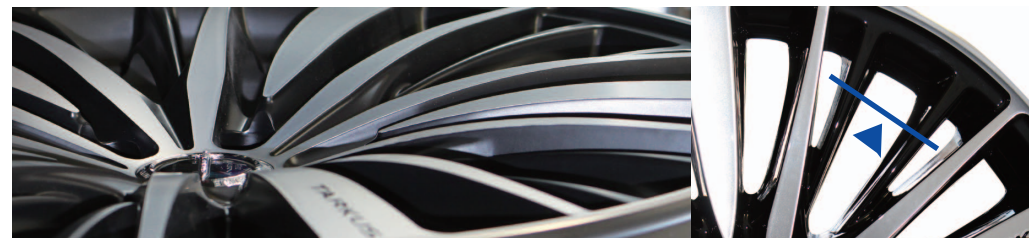


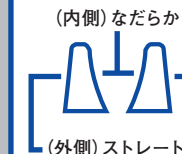
センターキャップは2ピース構造

高級感と立体感を表現するために、ベースのレンズの上に剣の成型品を重ねた2ピース構造を採用。



ラウンド形状と、サブスポークの細かい配慮が、全体のデザインを引き締める

剣のメインスポークを挟み込むサブスポーク。そのサブスポークから、さらに発達したスポークの側面は内側はR処理、外側をストレートにすることで、サブスポーク全体のまとまりに貢献し、メインスポークとのダブルフェイス化を実現しています。



大口径感を演出

メインとサブスポークが、リムエンドまで伸ばすことでワンサイズUPの大口径効果を演出。



スポーク部に、ホイール名を刻む

ホイール名を記す事で、存在価値・ブランド力を表現装着している優越感も引き出す。



至高の剣「タルカス」

剣をモチーフにしたデザインを採用。剣先が、ナットホールに干渉せず剣先が切断される事なくホイールセンター部に突き刺すイメージが印象的。

